桐菊

編集発行　第31号
群馬県立桐生工業高等学校
桐生市西久方町1-1-41
TEL (0277) 22－7141
FAX (0277) 46－4703
同窓会事務局　編集部
印刷　株式会社大間々印刷

会長挨拶
令和も輝く桐工へ

会長　腰塚富夫

同窓会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。同窓会並びに母校の発展のため日頃よりご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、地球温暖化の影響と思われる天災が今年も昨年の西日本豪雨に続き各地に災いしました。9月には千葉県で台風15号が千葉県内ほぼ全域の90万戸に20日間を超える停電を及ぼし、先月は台風19号が東日本の全域に命に関わるほどの水害を齎しました。桐生地区も桐生川、渡良瀬川が氾濫レベルに相当する豪雨に襲われ、隣の栃木県佐野市では秋山川が決壊しました。同窓会員の皆様の中にも被害に遭われた方も居られるかと存じます。心よりお見舞い申し上げます。

さて、その最中、今年5月1日から、新しい元号「令和」がスタートしました。奇しくも、桐工では電気科と染織デザイン科が統合し、今年度から「創造技術科」として電気コース20名、染織デザインコース20名、計40名、一クラスの新たな科が創設されスタートしました。少子化に揺れる桐生・みどり地区高校再編問題の現れですが、同窓会としては、母校の発展寄与のため、令和とともに新たな時代の幕開けとして前向きに捉えて参りたく存じます。昭和・平成にも増して令和時代も輝ける母校のため皆様にも貴重なご意見をいただけますようお願い申し上げます。

同窓会の運営としては、先頃、「令和2年度版名簿発行のお知らせ」を発送させて頂きました。皆様からのご協力により、より正確な名簿作成が作られると思います。名簿作成は縦横の繋がりをさらに広げる機会です。登録内容の確認や連絡先不明者の情報等ありましたら、引き続き情報提供をお願いいたします。そして、本年度は創立85周年にあたり、記念事業として10人乗りワゴン車を寄贈しました。9月20日に桐工中庭にて部活動代表生徒に参列していただき贈呈式を行いました。部活動をはじめ、様々な学校行事で活用され、多大な活躍の成果を期待しているところです。

最後に、今年も恒例の「同窓会親善ゴルフ大会」を開催しました。趣向を凝らし、表彰パーティーをゴルフ会場から移動し、桐生市民文化会館にて行いました。今まで以上に懇親を深める大会になった様子も覗えました。今後も会則にもありますように同窓会員皆様の絆を高めるため、ゴルフ大会のみならず、様々な行事運営を進めて参る所存です。それには、皆様の今までと変わらぬご支援が何より必要でございます。重ねて、同窓会活動にご理解ご協力をお願い申し上げ、会員皆様のご健康、ご多幸をお祈りし、ご挨拶と致します。

校長挨拶
桐工飛躍の年、令和元年

校長　藤生卓也

「初春の令月にして気淑く風和ぐ」

令和元年がスタートし、半年が過ぎました。同窓会員の皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に対し格別の御支援を賜り心より感謝申し上げます。

この度、同窓会報「桐菊31号」を発行されますことに心からお喜び申し上げます。また、9月20日には、同窓会より学校自動車を寄贈していただきました。心より御礼申し上げます。

さて、令和元年、本校は一学級減となりましたが、生徒・職員が一丸となり桐工活性化に向けて取り組んでおります。

活性化に向けた取組の一つは、工業高校の特色である、「ものづくり教育の一層の充実」であります。その成果として、今年度の高校生ものづくりコンテストでは、7部門の内、4部門で関東大会に出場することができました。出場していない3部門は、本校に専門学科がない分野でありますので、すべての分野で関東大会に出場したと言うことになります。出場した生徒の中には女子生徒もおり、ここ数年は女子生徒の活躍も目立ちます。また、新潟で行われた、全国高等学校ロボット競技大会には、本校から2チームが出場しました。

桐工活性化に向けた取組の二つ目は、「部活動の活性化」であります。昨今、本県では、私立高校の活躍が著しいところではありますが、サッカー選手権大会では、本校のサッカー部は一次予選を勝ち進み、念願であった決勝トーナメントに駒を進めることができました。また陸上競技部も砲丸投げで関東大会に出場、写真部も各種大会で入賞するなど活躍が目立っております。

定時制の生徒も陸上競技や剣道で全国大会に出場するなど活躍しております。

ものづくり教育を充実したり、部活動を活性化する上でも、移動手段となる学校自動車は必要不可欠のものとなります。寄贈していただいた、学校自動車を有効に活用させていただきながら、さらなる桐工活性化に向けて取り組んでいきたいと考えております。

ここ桐生・みどり地区は生徒数減少が著しい地区であります。これからも地域との連携を深めるとともに、同窓生のお力添えをいただきながら、桐工を群馬県一の工業高校にし、中学生にとっても魅力ある学校にしていきたいと考えております。引き続き同窓会員の皆様の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、同窓会員の皆様の御健勝と御多幸を祈念申し上げ、挨拶とします。

総会
フラで和やかな総会に

●期日　令和元年6月22日(土)
●会場　桐生市市民文化会館4階スカイホール

6月22日(土)桐生市文化会館4階スカイホールにて会員88名にお集りいただき、令和元年度同窓会総会および懇親会を開催いたしました。今年度はその幕間に二部として、福島きり奈フラダンス教室(伊勢崎市)の皆様にフラダンスショー～Ｈｕｉａ Ｈａｌａｕ Ｏ Ｎａ Ｐｕａ Ｌｅｈｕａ～を披露していただきました。

また、一昨年より始めました50歳以上、5歳毎のクラス幹事様を対象にした総会案内を20歳以上に繰り下げた結果、20代・30代・40代の新たな会員にも参加していただき、令和の新時代にふさわしい新鮮な総会となりました。

■総会

腰塚富夫会長の進行により、本部役員様から平成30年度本部・部活動振興事業報告、各支部で開催されております支部総会等事業報告、会計報告、監査報告、各支部長様からの親睦会や交流会の支部活動報告をして頂いた後、令和元年度役員変更案・事業計画案・予算案の議事が示され、協議の上、ご承認されました。役員変更案では新たな54Ｍ①加藤文男様の新副会長へのご就任、予算案では開校創立85周年を記念し、10人乗りワゴン車を寄贈することにご承諾をいただきました。

また、消防分団長としてご尽力し、消防功労による二〇一八秋の叙勲授章・園田一雄様や二月にご逝去され元桐生市立桜木小学校校長として教育活動に従事し叙位叙勲を授章した清水義男様が紹介され、出席いただきました清水義男様のご子息、勝様へ銀杯の贈呈をいたしました。

●同窓会表彰者

園田一雄氏34Ｗ（叙勲・瑞宝単光章）
清水義男氏24Ｗ附・28定ＤＷ（叙位叙勲・従六位瑞宝双光章）

■フラダンスショー

ヒーリング効果のあるハワイアンソングに合わせたフラの優雅な踊りに魅了されました。詳しくはブログ：フラダンス教室　講師　福島きり奈。

■懇親会

朝日輝く　妙なる色に～で始まる校歌を朗らかに皆様で歌い、中里昌明顧問(35定Ｍ)の乾杯で懇親会は開会しました。今年も静岡県支部野竹康和事務局長(40Ｅ②)の桐工宴会歌「寄ってらっしゃい(三代沙也可の替歌)」や歌手・早川晃司氏(45Ａ)の「かなかな(作曲・川井のぼる氏44Ｅ②)」等の歌声が響く中、和やかに来年の再会を期し閉会しました。

10人乗りワゴン車を寄贈

■お知らせ

令和2年度総会&懇親会は令和2年6月6日(土)桐生市文化会館開催です。参加をお待ちしております。問合せは事務局0277(22)7141迄。

開校記念講演会
演題「共愛学園での50年の歩み」

講師　学校法人 共愛学園 理事長　須田洋一 先生

5月8日(水)に本校体育館にて開校記念式典が開かれ、本校卒業生であり学校法人共愛学園理事長の須田洋一様をお招きし、開校記念講演会を同時開催しました。

須田様は昭和38年紡織科卒。在学中には全国大会の円盤投げで4位入賞するなど素晴らしい成績を収めました。卒業後には東洋大学に入学され、経済学部経済学科で多くのことを学び、昭和42年に卒業。24歳で共愛学園事務局に入職されました。翌年から中学教諭を7年間併任し、昭和50年4月から共愛学園事務局長、昭和63年4月からは共愛学園女子短大事務局長、平成11年4月からは共愛学園前橋国際大学事務局長、平成12年4月からは共愛学園理事、平成21年4月からは共愛学園副理事長、そして、平成23年4月からは共愛学園理事長を務められています。後輩達に向けて「共愛学園での50年の歩み」と題し、自らの経験を語っていただきました。

また、当日は開校85周年という節目を迎え、須田様の沢山の級友の方々にもご来校をいただき式典が執り行われました。須田様は、そのお仲間を紹介しつつ、縦にも横にも深く広がった、今も続くOB仲間たちとの繋がりの大切さについてもお話されました。

共愛学園の運営では、用地取得などに苦労した小学校設置のエピソードや多くの国際感覚を養った人材を輩出し、前橋国際大学の志願者数が増加している現状を紹介していただきました。

その中「学園の成長を第一に考え、課題に直面したときは困難な道を選択してきました。迷ったときには困難な道を選択することが大切です。目標を定め実現に向けてコツコツと歩み続けること、実現しなくても悲観しないことです。歩み続け挑戦することに意義があります。」と語っていただきました。お言葉に生徒は真剣に聞き入っておりました。

第28回 親善ゴルフ大会

8月25日(日)、第28回親善ゴルフ大会が桐生カントリークラブにおきまして開催されました。

◆団体戦（支部対抗）

優勝　笠懸　359・8
2位　11支部　363・6
3位　16支部　366・6

◆個人戦（ネット）

優勝　浅海一男　68・4
2位　松原茂雄　70・4
3位　加藤文男　70・6
4位　田島孝宏　70・8
5位　藤田一恵　71・0
6位　金子政文　71・2
7位　遠藤英夫　71・6
8位　糸井佳夫　71・6
9位　久保田勉　71・6
10位　田島紀幸　71・8

◆ベストグロス

Ｇシニア赤石　昇
シニア　田島　孝宏
一　般　遠藤　英夫

◆ニアピン

岩野和正・海川知博
田村光市・伊藤久夫
千本木剛・松原茂雄

◆ドラコン

一般　久保田勉・岡部利明・海川知博・遠藤英夫
シニア　飯塚道夫・青木講一・関口恵司・大澤清
Ｇシニア　新居喜一・森下和夫・堀口喜夫・初谷幸一

●新任者挨拶
同窓会のために尽力を

副会長　加藤文男(54Ｍ①)

このたび同窓会副会長の大役を仰せつかりました加藤文男と申します。昭和五十四年機械科を卒業いたしました。在学中には多くの先生方のご指導、陸上部顧問の先生、先輩、OBの方々の温かい励ましを頂き無事卒業することができました。方々の御恩に報えるよう今後は桐工同窓会のため桐工在校生のために微力ではございますが尽力していく所存です。

県外支部だより

中部支部

副支部長兼事務局
岡部和夫（39M1）

◆支部近況

現在、支部の実勢会員数は14名で、平均年齢が77歳と高齢化が着実に進行しています。高齢化に伴い体調の不調や家族の介護等々生活環境が大幅に変化している中、ともすれば活動が停滞してしまいますが、山口支部長の強力なリーダーシップと会員相互の絆で年間を通して活動を展開しています。

昨年5月に伊勢・鳥羽（三重県）で総会を開催後、夏季行事として8月に岐阜県の長良川支流の板取川で恒例の『鮎を食べる会』を開催、清流を眺め天然の鮎を賞味して天然温泉で身体を癒やしました。今年も8月に実施しました。

秋季行事は一泊の親睦旅行で11月に輪島を宿泊地とした能登半島を一周しました。輪島朝市、白米千枚田、能登金剛等観光し楽しいひと時を過ごしました。

今年1月に恒例の新年会を一宮市の居酒屋『大樽』で開催し、平成最後の行事となりました。

新元号になって最初の行事であった定期総会は準備不足で開催できませんでした。関係各位に大変ご心配とご迷惑をお掛けしましたことお詫び致します。

今後の活動は毎月開催のお茶会で内容を見直し、実態に対応していきます。

埼玉県支部

支部長
鈴木栄次（34E）

平成30・31年の年末年始は、事務局会議と常任幹事会を数回開催し平成最後の定期総会の準備をしました。

31年度の定期総会は、桜の開花が遅れがちの3月30日（土）に「熊香」で開催、本部より峰岸副会長・上石事務局長に出席を頂き、支部よりは12名の会員が出席致しました。

第1部恒例のG・G大会は、荒川土手の桜花の下で12名の参加者でプレー開始、熱戦の結果、今年は永田会員が鈴木支部長と同スコアですが優勝しました。昼食会は川魚料理の老舗「満る岡」でうな重を食べて大会の疲れを癒やしました。午後は第27回支部総会を開催し、活動報告決算・予算協議、事業内容検討をして、午後3時に散会しました。

ゴルフは高齢化に伴い支部大会は廃止とし、本部大会は最小限の参加をしていく事にしました（今年は2名）。その分G・G大会は積極的に実施の方向を決定しました。

支部日帰り交流会は、5月30日（木）、東京国立博物館の東寺展、旧築地市場、豊洲新市場等に10名で行きました。

6月22日（土）の本部定期総会は3名が出席しました。

学校だより

創造技術科（G科）創設される

創造技術科は本年度から新しく創設された科になります。

元号も令和に変わりその節目にもふさわしく、桐工の新しい顔として学校を牽引できるものと考えます。

創造技術科は伝統のある、電気科および染織デザイン科が科としてではなく、コース制としてそれぞれ20名の募集人数となり合計40名一学科となりました。クラスとしてみると今年度は、電気コース男子17名・女子3名、染織デザインコース女子20名で、計40名となり共学高校のクラス構成と同じであり、工業高校に新たな息吹を持ち込んでくれています。これがこれからの桐工にとって大きい力となっていくと思っています。

同窓会の皆様に置かれましては、温かい目で見守っていただき創造技術科のことを聞かれた際には是非このようなことを周知していただければ幸いです。新しい「創造技術科」をよろしくお願いします。

ものづくりコンテストの活躍

群馬県予選を勝ち抜き、ものづくりコンテストで見事関東大会出場を決めた各部門の選手（写真左から前原涼人君・3M1、島田樹人君・2K、島村隆生君・3K、川島優太君・3K、関口澪さん・3K、岡崎真夕さん・3E）。結果は木材加工部門に出場した島田君が25人中7位と健闘しましたが、チーム出場になる測量部門の島村君、川島君、関口さんの3名、旋盤部門の前原君、電気工事部門の岡崎さんともに残念ながら入賞とはなりませんでした。一言ずつですが、関東大会を経験した後、感想を頂きました。

「あともう1歩で全国を逃したのでとても悔しかったけど、関東大会では精度がとても良くできました。」川島君

「関東大会に出て測量の技術のレベルが上がったので、仕事に生かしたいと思いました。」島村君

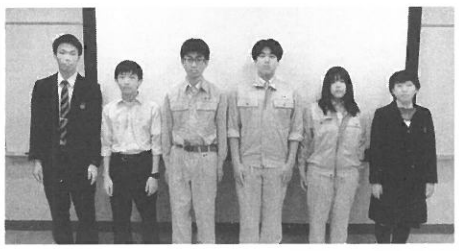
「関東大会ではとてもいい経験ができ、楽しかったです。」関口さん

「出られると思っていなかった関東大会に出ることが出来て、貴重な経験が出来ました。」岡崎さん

「関東大会に出場して自分の未熟さを感じたので、これからも努力を続けていきたいと思います。」前原君

「今年出来なかったことなどを来年に向けてしっかり準備して、もっと良い成績を残せるように頑張りたいと思います。」島田君

3年生5人は挑戦終了となりますが、2年生の島田君をはじめ、各科の生徒が来年も活躍出来るよう努力していきたいと思います。



染織デザイン部

今年度は「メイドイン群馬のシルクショール」制作に取り組みました。

まず材料ですが、群馬県蚕糸技術センターで飼育された研究用の繭から繰糸した生糸を提供していただきました。次に生糸を織れるようにする撚糸は、群馬県繊維工業試験場にお願いしました。何度も試験を重ねていただき、桐工の手織り織機で織れる太さで、シルクのしなやかさや光沢が十分に感じられる素晴らしい糸が仕上がりました。生徒たちにも試験場で撚糸についての講義をしていただいたり、撚糸の機械を見学させていただいたり、授業で学んだことをより深めることができました。

糸が仕上がる間に学校では「藍」を栽培しました。種から育てた藍は、糸を待つ間に学校の一角で青々とした葉を茂らせ、この葉を使って生徒たちが仕上がった糸を水色に染めました。自分たちで育てた藍で群馬の絹を染色するということで、いつもとは違った緊張感と充実感を得ることができました。

染色の次はいよいよ待望の機織りです。糸1本ずつに群馬の技術と協力していただいた皆様への感謝を感じながら、丁寧に織りました。織り上がったショールは群馬県民の日のイベント、群馬県高校芸術祭、桐生市買場紗綾市にて展示した後、染織デザイン科の制作の集大成である卒業制作展にも展示します。

群馬シルクの品質や繊維技術と染織デザイン科とが生み出したシルクショールをたくさんの方にご覧いただきたいと思います。

ロボット研究部 全国大会出場

8月27日に行われた群馬県予選で昨年同様、桐工黒星（キリコウブラックスター）と新しく桐工赤星（キリコウレッドスター）が見事予選を勝ち抜き、新潟で行われる全国大会へと駒を進めました。競技内容は新潟県が全国に誇る、「金銀山」「大花火大会」「新潟米」に関連したアイテムや、新潟県の県鳥で特別天然記念物の「朱鷺」をモチーフにした自作得点対象物を、指定されたエリアに搬送・射出し、その完成度を得点で競う大会です。

群馬県予選の本校の結果は、11チームで予選を行い、得点が高い上位5チームが全国大会へと出場することができます。桐工赤星は150点を獲得し、全体3位での予選突破、桐工黒星は145点を獲得し、全体4位で予選を突破しました。群馬県予選の出場チームの中では唯一、一校から2台のロボットが全国大会へと出場することができました。

新潟県で行われる全国大会は、新潟県長岡市の「アモーレ長岡」において10月26日・27日に行われます。全国大会へ向けて、今までに学んだ技術・知識を生かしてさらなる機構に加え、予選で使用した機構の改良をして全国大会では良い結果を残せるように準備をし、挑んでいきたいです。

国体関東ブロック予選出場

落合　志竜（男子バスケットボール部）

今大会に出場して、新しい自分を発見できた、とても充実した時間を過ごす事ができました。技術だけでなく、人として大切な所を見つける事ができました。

毎回練習を積み重ねる中で、チームワークが深まるのを感じるとともに、自分自身の上達も実感できました。

時にコーチから怒られたり、時にチーム内での人間関係がうまくいかないなど、チームゲームの難しさを感じました。が、バスケが好きという思いはいつもみんなを一つにしてくれました。

結果的には本国体出場する事はできませんでしたが、楽しい時間と素晴らしい経験をする事ができました。応援して頂いた全ての人に感謝しています。

そして、今回の選抜練習会や関東ブロック大会に参加して得たものを自分のチームにも生かし、目標達成に向けて頑張っていきたいと思います。

定時制の近況

定時制教頭　齋藤　隆

まずは、全国大会のご報告です。今夏、剣道部一名と陸上競技部二名が全国大会に出場しました。同窓会の皆様には、過分な激励金を頂戴いたしましたことをこの場を借りてお礼申し上げます。結果、剣道部はベスト16でした。陸上競技部は、健闘しましたが猛暑の影響もあり、予選敗退となりました。三人とも今回の悔しさをバネに、来年度は更に活躍してくれることと思います。また、今回惜しくも全国大会出場を逃した部活動の生徒も、来年度に向けて雌伏して時至るを待ってほしいと思っています。

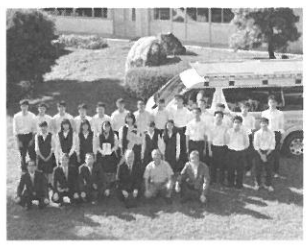
定時制の在籍者は現在59名です。一学期にほぼ全員の生徒と面談をしました。皆一様に本校での生活の楽しさと知識・資格をしっかり身につけたいという気持ちを、語ってくれました。

私たち定時制の職員は、仕事と学業の両立に励む生徒を、全力で支援する覚悟です。同窓生の皆様には、これからもご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

事務局だより

■ワゴン車贈呈式

9月20日（金）桐生天満宮で安全祈願を行い創立85周年を記念し寄贈したワゴン車の贈呈式を行いました。藤生校長へ目録と共に納車しました。参列した陸上競技部部長から御礼の言葉と活躍の誓いをいただきました。



■会員名簿発行

9月より名簿発行に向けて編集作業を開始。㈱サラト様（兵庫）に委託し作成中。会員皆様の情報提供や賛助金のご協力をお願い申し上げます。

■役員変更等

◎就任・加藤文男副会長（54M①）・藤生卓也学校長、小島靖夫全日制教頭、齋藤隆定時制教頭顧問・須田彪太事務局編集担当（H27K）

◎退任・板井政夫常任幹事（26M・ご逝去）・大澤幸一顧問（37W）

編集後記

今年はものづくりコンテストでの活躍が目立ちましたので掲載致しました。その他にもデザイン部、ロボット研究部全国大会出場、バスケットボール関東予選国体メンバー選出など沢山の生徒が活躍しています。「桐薗」でお伝えできなかった生徒の活躍はホームページでお伝えしているので是非ご覧ください。